

**銅・アルミレポート**

橋本アルミ株式会社取締役  
**橋本 健一郎**

11月のアルミ概況および12月の見通し (2)

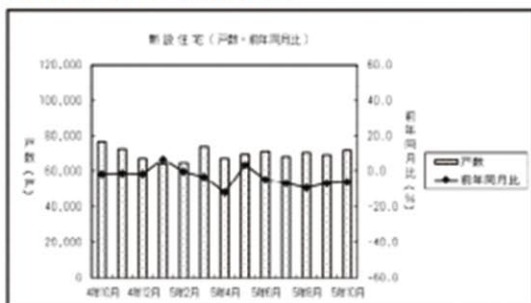
**予想レンジ**

LME 現物後場買い 2,100-2,200ドル

スクラップ +5円~10円 (前月最終価格より) \*

為替 145円~150円 レンジ内  
(1か月間TTM)

### 新設住宅 (戸数・前年同月比)



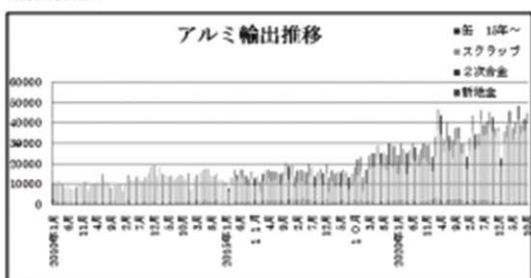
### 貿易指標

#### 【輸出】

新地金新地金は-306%の414 t。  
二次合金は-57.1%の671 t。  
スクラップは+13.2%の3万8,580 t。  
アルミ缶は-26.5%の5,202 t。

輸出	8月	9月	10月
新地金	330 t	282 t	414 t
前年比	+139.1%	+200%	-306%
二次合金	843 t	652 t	671 t
前年比	-54.8%	-63.5%	-57.1%
スクラップ	3万3663 t	3万5112 t	3万8580 t
前年比	+3.4%	-3.4%	+13.2%
缶	4304 t	5998 t	5202 t
前年比	+32.1%	-16.1%	-26.5%

### 輸出推移

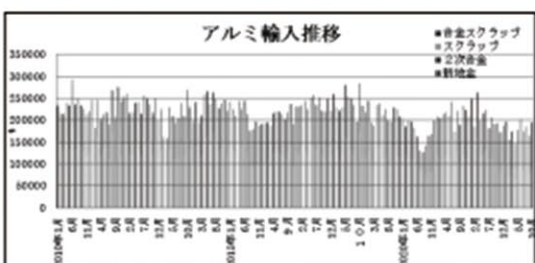


### 【輸入】

新地金は-15.5%の8万6,648 t。  
二次合金は+21.3%の10万8,042 t。  
スクラップは-25.3%の610 t。  
合金スクラップは+14.4%の6,353 t。

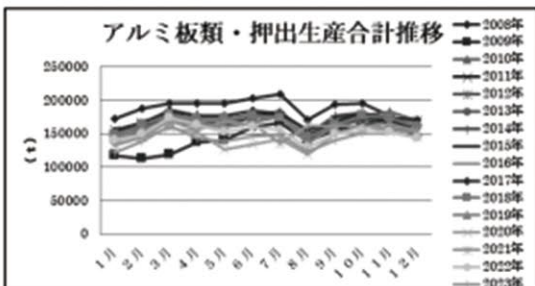
輸入	8月	9月	10月
新地金	9万6630 t	7万6878 t	8万6648 t
前年比	-16.5%	-26.7%	-15.5%
二次合金	8万8418 t	8万6655 t	10万8042 t
前年比	-3.9%	+1%	+21.3%
スクラップ	710 t	612 t	610 t
前年比	+64.7%	-12.3%	-25.3%
合金スクラップ	5778 t	5306 t	6353 t
前年比	+3.8%	+5.8%	+14.4%

### 輸入推移



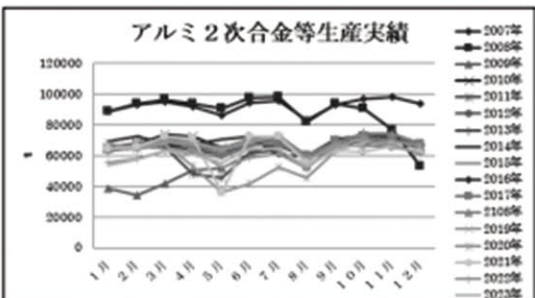
### 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.8%の15万1,570 tで19カ月連続マイナス。



### 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+3.3%の6万8,113 tで2カ月ぶりプラス。  
出荷は+2.3%の6万8,166 tで2カ月ぶりプラス。



## ■国内概況まとめ

## 【自動車生産】

生産動態統計によると10月の自動車生産台数は前年比+19%の77万9,814台。輸出は前年同月比+25%の38万2,897台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると11月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+19%の25万5,054台。

## 【住宅着工数】

10月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比6.3%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.0%の増加となった。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.8% 15万1,570 tで19カ月連続マイナス。

板類は9万3799 tの-2.4%で18か月連続マイナス。押出類は5万7771 tの-0.9%で22か月連続マイナス。

## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+3.3%の6万8,113 tで2か月ぶりプラス。出は+2.3%の6万8,166 tで2か月ぶりプラス。

## 【見通し】

## 【自動車】

10月の自動車生産が+19%。11月国内販売台数が前年比+19%、10か月連続で生産、販売共に回復の兆し、あり今後に期待。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.8%の15万1,570 tで19カ月連続マイナス。前月に続き中国景気後退によるスマホ需要の低迷から来月も期待薄。

## 【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は+3.3%の6万8,113 tで2か月ぶりプラス。

出荷は+2.3%の6万8,166 tで2か月ぶりプラス。

日本の自動車生産販売は堅調な中、先月5か月ぶりに減少したが今月は増加、今後に注視。

## 【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続きLME価格が2,200ドル近辺とレンジ内傾向だった。ただ二酸化炭素削減に向けたリサイクル原料特需による中国筋の高買いにより在庫薄。需要面に関しては、先月同様日本の自動車生産販売が堅調なこと、円安から輸入物が高くなっていることから需要が引き締まっている。LME価格の上昇による中国筋の高買も。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

## ①米FRBの金融政策

FRBの利上げ局面は終了したとの観測が強まっている。インフレ鈍化を映す統計が目立つほか、11月末のパウエルFRB議長の発言も市場の想定ほど金融引き締めに積極的な内容ではなかったことから、むしろ来年は利下げ期待が台頭。

## ②中国の景気対策

経営再建中の中国不動産大手、中国恒大集団に対する清算の申し立てについての審理を開き、判断を来年1月29日に延期した。恒大が示した新たな債務再編案についての検討や協議に時間を要するとしたことから年内は持ちこたえるのではないかと。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,100~2,200ドル(セツル)との予想。

ドル円値は145円~150円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+5~10円程度と予想している。

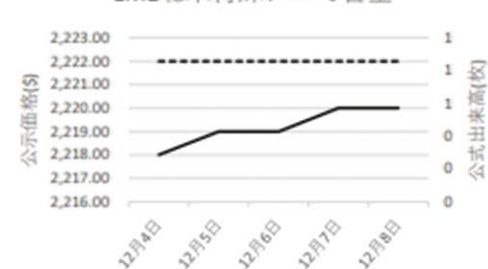
(「11月のアルミ概況および12月の見通し」おわり)

nikkankinzoku.co.jp

PW nikkin202312

LME公式値週間推移 12月4日~12月8日(現地)

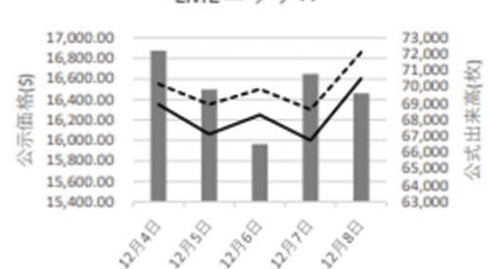
LME北米特殊アルミ合金



	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日
出来高	0	0	0	0	0
直物	2,218.00	2,219.00	2,219.00	2,220.00	2,220.00
先物	2,222.00	2,222.00	2,222.00	2,222.00	2,222.00

出来高 直物 先物

LMEニッケル



	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日
出来高	72,221	69,856	66,523	70,802	69,628
直物	16,350.00	16,060.00	16,250.00	16,000.00	16,605.00
先物	16,550.00	16,350.00	16,500.00	16,300.00	16,860.00

出来高 直物 先物